

西小倉めぐみ教会通信

発行者
日本キリスト教団
西小倉めぐみ教会
〒611-0042
京都府宇治市小倉町西浦33-36
TEL&FAX 0774-20-3071
<https://n-megumi.com/>

弱きキリストに生かされて

牧師 棚谷直巳

宇治市小倉町には、桜の並木がいくつもあります。晩秋になると紅葉した桜の葉っぱが、まるで熟した柿のように枝にぶら下がっていて愛らしく、わたしは落ち葉となって路に落ちているものを拾って眺めるのが好きです。紅葉には、春の青葉の頃に虫に喰わせた穴があちこちにあり、夏の日照りに焼け、また病を得た黒い模様があり、その紅色は濃く味わいが深く、そうして刻まれた全てが一枚の景色となっています。葉の景色の全体は、匠の作家が時間をかけて焼き上げた陶磁器のようです。こうした葉の景色は人の一生のようで、いくつかの破れも病の跡も、日照りに焼けた跡も、それらの全てが美しいと感じます。

コロナ禍となって2年が過ぎました。今も第6波の感染拡大が心配されています。この間、日常生活に大きな制限が加えられ、「日常を変えよう」とのスローガンが聞かれました。世界の全体が死を身近に感じて日々に恐怖を覚えた、そうした2年間であったと思います。

ところで、私がステージ4の癌になってからも2年が過ぎました。癌という病も、やはり「死」というものを意識します。コロナではありませんが、初めのうちはこれまでの自分の「日常」を考え直して、「残された時間を無駄なく生きよう」



と、気負った自分がありました。しかし、そうしたおもいは次第に変わっていききました。

確かに癌告知の直後は、死は

ただ怖いもので「私」を永遠の孤独に突き落とす闇でしかありませんでした。聖書も、イエス・キリストの死への恐れについて詳しく伝えています。イエス様は十字架の死を前にゲッセマネで「死ぬばかりに悲しい」(マルコ14:34)と嘆かれ、「できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください」(マタイ26:39)と祈られ、そして「血が滴るように」汗を流し苦しまれた(ルカ22:44)と、聖書はそう書いています。人間として生きられたイエス・キリストは、こうして、「人間と同じ痛みを知る救い主」となられたのでした。

たいへんに不思議なことでしたが、私が癌で強く死の恐怖を感じた時、その救いとなったのは、いわゆる「全知全能の強い存在」ではなくて、むしろ聖書に記されたような人間と同じ痛みを知る、そうした「弱いキリスト」でした。弱いイエス・キリストを知ること、自分の弱さ、不完全さ、そして癌という病も、心に受けとめることが出来たのでした。そして、「残りの時間を特別に過ごす」などと云うよりも、今あるそのままの生活を大切に、1日の出会いを大切に、体力的制限はあるものの、これまで通り気負わずに生きればいいのかと、考えるようになりました。以前と同じように、よく笑うようになりました。「あなたは心が強いんですね」とおっしゃる方がいますが、むしろ弱い人間だから、素直に生きられるよう、イエス様に導かれたのだと思います。病も人間的な弱さも、イエス・キリストはそのすべてを贖い受け入れて、今この時に生きる力をく

ださることを知ったのでした。

この間、いくつかの教会を宣教で回らせていただいた時、「私も癌です」とおっしゃる方



によく出会いました。キリストの力を受けて生きる信仰の先輩たちからも、また難病で重度身体障害者である連れ合い ^{イチヨウミ} 李清美さんからも、安堵と勇気をいただきました。

聖書には、次のように書かれていました。「キリストは、弱さのゆえに十字架につけられましたが、神の力によって生きておられるのです。

わたしたちも、キリストに結ばれた者として弱いですが、しかし、あなたの方に対しては、神の力によってキリストと共に生きています。」(Ⅱコリント13:4)

これからもキリストにおいて結ばれた者として、多くの皆さまと共に生かされてまいりたいと願います。感謝します。

<教会1階のバリアフリー化工事が完了しました>



昨年発行の当教会通信第26号で予告していた1階バリアフリー工事が、2021年2月に完了しました。

追加工事分も含めた総工費は4,388千円となり、皆様方からの暖かい献金と教会内借入により満たされました。心から感謝いたします。今後、新たな会堂で、地域住民の方々とお互いに支え合える居場所・コミュニティづくりを拡充したく思います。

従来高低差のあった礼拝堂と談話室がフラットになり、従来よりも広く礼拝を守ることができるようになりました。はからずもソーシャルディスタンスをとることもできます。

玄関から車いすでもそのまま礼拝堂に入ることができます。

1階にも台所を設置(従来は2階のみ)し、そのまま1階の礼拝堂で食事できるようになりました。



<学習会「貧困の背景を考えながら寄り添う～路上生活の支援から～」(2021年3月21日)>



この日は、大阪市のNPO法人長居公園元気ネット「オシテルヤ」でケースワーカーとして働く門戸陽子さんを招き、その働きをお聴きしました。ヘルパーステーション、就労継続支援B型事業所、グループホーム等を営む同法人は、その利用者の過半数が野宿経験者で、制度にのらない隙間^{すきま}の支援に努めています。錨^{いかり}となるような「日常」を作ること、庇^{おさし}をのばすこと、片目をつぶる(一旦受け入れる)こと、対話する(本人の語りを重視すること、フィジカルであること。こうして言葉にすることは簡単でも、現実的に落としどころを見つけていく努力の積み重ねを感じました。

＜ 「コロナ感染の増大と医療体制の逼迫^{ひつぱく}を招く東京オリンピック・パラリンピックの開催強行に抗議します」を発信しました（2021年7月15日）＞

東京オリンピック開催を目前に控えたこの日、表記の抗議声明を当教会ホームページに掲載しました。（全文は同ホームページをご覧ください。）ひとりひとりの命の尊厳を大切にする立場から、ひとりの命よりもオリンピックを優先する政府への抗議の思いを込めました。実際、オリンピック開催の間、感染は増大を続け、入院に至らないまま多くの命が失われました。今後とも、見張りの使命を果たしたく思います。

＜ 礼拝において教会員が「証^{あかし}」に立っています ＞

当教会の礼拝では、時々教会員による「証」の時をもっています。それは抗癌剤治療中の牧師の負担を軽くする意味もありますが、信仰の共同体として「証」はとても大切な業であり「宣教」でもあると考えています。2021年には、次の方々に「証」をしていただきました。その内容を詳しくはお伝えできませんが、そのタイトルを見ただけでも、それぞれの人生、そこに現れた神様のはたらきを感じられます。

（写真は小曾根一枝さん）

- | | | |
|--------|---------------------------|----------------|
| 1月24日 | 富増献児さん | 『先生』から『主よ』 |
| 6月6日 | 柴垣孔明さん | |
| | 「こんな弱い者にこそ主は共におられます」 | |
| 8月1日 | 呉成子さん ^{ひろあき} | 「神様とわたしの人生」 |
| 9月26日 | 小曾根一枝さん ^{オウソウジヤ} | 「私のいままで」 |
| 10月10日 | 杉本節子さん | 「たくさんの人に支えられて」 |



＜ 召天されました ＞

葛田フサさん 2021年7月17日召天(93歳)

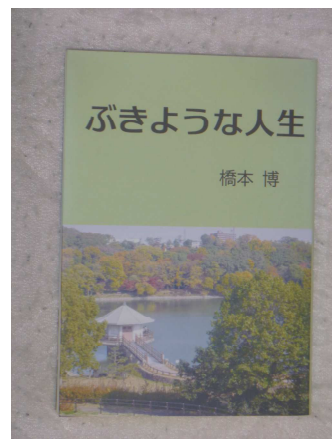
当教会員の葛田フサさんが、老衰により静かに天に召されました。保育士として活躍された葛田さん。受洗は戦後まもない1954年で、信仰の先輩でした。お元気なころは、教会でもしっかり発言される方でした。晩年は京都市伏見区の老人ホームで過ごされ、礼拝に出られないことを残念がっておられ、時々棚谷牧師が訪ねると喜んでおられました。天では、ご友人だった多芸美智子さんとゆっくり語っているのでしょうか。その魂が平安であることを祈ります。

＜ 当教会の橋本役員が自費出版しました ＞

「ぶきような人生」 橋本博 著

もって生まれた不器用さゆえに、孤立しいじめにあった少年時代。そこから自己を確立し、破れ多い人間ながらも何とか勤めた公務員生活。精神的な支えとなったキリスト教信仰。フリーの身になった60歳の時点で、その成長過程に重点をおいて振り返ってみました。一読いただき、何らかの弱さを持った方々に何かが響いてくれば幸いです。

希望される方に1冊1,000円＋送料180円で販売させていただきます。この自費出版に係る専用メール bukuiyouhh@outlook.jp に送付先住所等をメールいただければ、橋本から振込口座等返信させていただきます。なお、代金は当教会への献金とさせていただきます。（橋本）



「西小倉めぐみ教会を支える会」へのご支援のお願い

主の御名を賛美いたします。

西小倉めぐみ教会は、1981年、多芸正之牧師により創立し、2005年から倉橋剛牧師が、2015年からは現在の棚谷直巳牧師が務めています。一貫して、社会の中で小さくされた人たち、貧しくされた人たち、障害をもつ人たち、とりわけ精神障害者の人たちの課題を共に負って生きること、平和を希求して歩むことを宣教の課題として歩んできました。

現棚谷牧師が伝道師であった1992年には精神障害者のいこいの場として「ほっとハウス」を創設。これは四半世紀を経て大きく育ち、2019年5月には近隣地に新築移転しました。倉橋牧師就任時には、不登校・ひきこもりがちな青少年の居場所「おやすみ」や、地域の方々と歌を通じて交流する「歌ごえ」を創設し、現在も取り組みを続けています。2014年8月には宗教法人化し、今後永く教会のはたらきを続ける基盤ができました。

同教会では、教会に集う人たちが自身が精神障害者であったり、その家族に精神障害者がいる人たちが多くを占めています。弱い立場にある人たちが多く集う教会ゆえに、教会員による精一杯の献金にもおのずと限界があります。そのため、牧師の謝儀に対し、京都教区宣教連帯の制度から援助を頂き、さらに全国の皆様から「西小倉めぐみ教会を支える会」に献金をいただき、併せて教会の支出の見直しを重ねてきました。これからも小さく弱い群だからこそ神様から与えられた使命を果たし続け、その社会的はたらきをより広く知っていただくための発信を続けたいと思います。厳しい経済的事情にどうかご理解をいただき、「西小倉めぐみ教会を支える会」へのご支援をいただきたくお願い申し上げます。

2021年 12月 西小倉めぐみ教会を支える会 代表 山下茂雄
(かがわ子ども・子育て支援センター館長)

今までに御献金いただいた方のお名前(敬称略・順不同) 2020.11.16~2021.11.15

安達太郎 尼崎教会 アンドウヒロミ 李相頸 市川三本松教会 岩原和恵 上野千里
宇治教会 宇治教会すみれ会 鴨東教会 大石愛子 大野教会 大森純子 奥井滋彦
川上信 君村千代子 京都教会 京都教区南部地区 京都市北部障害者地域生活支援センター
経堂北教会 京北教会 金順喜 錦林教会ペスタロッテ保育園 久ヶ原教会
クローバーのつどい 小西望 頌栄教会 世光教会 膳所教会 ソエジマツヨシ 草加教会
高石教会 高の原教会 高橋正行 滝野川教会 竹内富久恵 棚谷克巳 丹波新生教会
柘植裕子 上橋和也 津山教会 田園江田教会 同志社教会 鳥羽匠 永島美加 永見佳央里
難波幸矢 西千葉教会 西堀カズコ 西堀トシカズ 野方町教会 信岡茂浩 原宿教会
ひばりが丘教会 伏見教会 伏見東教会 船矢直子 松山古町教会 三田教会 三友由美子
箕面教会 宮本真希子 柳本和良 薮千鶴 薮秀美 山口純一郎 八幡ぶどうの木教会
洛北教会 洛西教会 洛南教会 匿名
李清美 上島良彦 呉成子 倉橋 剛・容子 小曾根一枝 柴垣孔明 杉本節子
田中 晁・千栄 橋本博 三友明日香 三友華保 門戸幸子 棚谷直巳
(177 件 計1,152,401円)

<教会バリアフリー化に対する献金>

今井牧夫 宇治教会 大江野の花教会 上鳥羽教会 神戸教会 桂教会 熊谷沙蘭 石若義雄
田中英夫 川上信 岸本兵一 佐原教会 前川裕 紫野教会 洛南教会 棚谷直巳
(15件 計500,000円)

振り込み口座番号(ゆうちょ)…00970-2-79224 (加入者名 西小倉めぐみ教会を支える会)

●教会のホームページをご覧ください！！

西小倉めぐみ教会のホームページを改良しました。毎週の礼拝宣教の要旨を載せております。これからも少しずつ内容を充実させていきたいと思います。過去の教会通信も掲載しています。是非一度ご覧ください。アドレスは n-megumi.com です。

また、ひきこもりがちな若者が安心してすごせる居場所 フリースペース「おやすみ」のホームページもあります。アドレスは oyasumi.info です。こちらも併せてよろしくお願いします。